

東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行っています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

【研究課題名】

炎症性腸疾患の病態と治療に関する後方視的研究

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を利用し、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）の病態と治療について解明することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2010年1月1日 から 2022年4月25日 までの間に、
当院の消化器内科で潰瘍性大腸炎・クローン病についての医療を受けられた18歳以上の方です。

【利用期間（研究実施期間）】

臨床研究審査委員会許可日 から 2025年3月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

- ・診療情報等：患者情報（年齢、性別、病型、治療内容、検査結果、内視鏡結果、既往歴、薬剤内服歴、ADL(日常生活動作)、家族背景、認知機能、転帰）
- ・試料：該当なし

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院（電話：代表 0463-93-1121 内線：5040）

研究責任者 消化器内科 鈴木秀和

問い合わせ担当者 消化器内科 金子元基